



いざという時の「水」を備えましょう!

いつ起こるかわからない地震や台風などの自然災害。水道局では、水道管の更新に併せて耐震化を行い、災害に強い施設整備を進めているほか、災害等による断水に備え、耐震性貯水槽の設置や応急給水機器の配備など、飲料水の確保に努めています。

しかし、大規模な災害時には行政機関が対策を行う『公助』には限界があり、自分の身は自分で守る『自助』、地域などで助け合う『共助』が重要となります。

皆さまも日ごろからできる災害への備えをお願いします。

水の備蓄をしましょう

◆ 最低3日分の飲料水の備蓄を!

令和元年東日本台風のような大規模な災害が発生した場合、道路の冠水や土砂崩れなどにより水道局で十分な給水作業ができない場合や皆さまが自宅から給水所へ給水を受けに行くのが困難な場合があります。

そのようなときに備え、皆さまのご家庭で飲料水の備蓄をお願いします。

◆ 水を上手に備蓄しましょう

普段から食料などを少し多めに買い置きし、使った分だけ買い足すことで常に一定量の食料等を備蓄する方法を「ローリングストック法」と呼んでいます。

水道水のくみ置きや備蓄したペットボトル水をローリングストックすることにより、日常生活の中で飲料水の備蓄を取り入れることができます。



◆ 水道水の備蓄方法は

備蓄するときは、清潔でふたのできる容器に、空気が入らないよう口元まで水を入れるようにします。

水道水は、塩素の消毒効果がありますが、直射日光が当たらない涼しい場所に保管して、3日に一度は水を入れ替えてください。

給水場所を確認しておきましょう

◆ 耐震性貯水槽

災害時には飲料水の給水所となります。最寄りの設置場所を確認しておきましょう。

市内の設置状況

地区	番号	設置場所	容量(ℓ)	所在地
平	①	菱川町公園	40,000	平字菱川町7-7
	②	平体育館	40,000	平字正内町6-1
	③	平第二小学校	40,000	平字梅香町7-1
	④	下平窪第一公園	40,000	平下平窪字味噌農9
	⑤	平一丁目公園 ※消防用水利兼用型	100,000	平字一丁目20-1
	⑥	走熊公園	40,000	中央台鹿島一丁目55-1
小名浜	⑦	横町公園	40,000	小名浜字蛭川南140-2
	⑧	小名浜市民会館	40,000	小名浜愛宕上6-1
	⑨	泉西公園	40,000	泉町四丁目14-1
	⑩	江名小学校	40,000	江名字天ヶ作154
	⑪	玉露中央公園	100,000	泉玉露四丁目9
	⑫	小名浜第三小学校	60,000	小名浜住吉字搦町7-1
勿来	⑬	植田第二公園	40,000	植田町中央三丁目9-1
	⑭	錦中学校	40,000	錦町飯盛町1-1
	⑮	勿来第一中学校	40,000	勿来町窪田伊賀屋敷102-2
	⑯	勿来第二小学校	40,000	勿来町関田和久75
	⑰	常磐市民会館	40,000	常磐関船町作田1
	⑱	上湯長谷公園	40,000	常磐上湯長谷町湯台172-3
常磐	⑲	三函街内	40,000	常磐湯本町144-17
	⑳	桜ヶ丘四丁目公園	40,000	桜ヶ丘四丁目68-1
内郷	㉑	馬場児童公園	40,000	内郷綴町川原田59
	㉒	宮沢市営住宅	40,000	内郷宮町宮沢101-3
	㉓	桜田公園	40,000	内郷白水町桜田4-1
	㉔	天上田公園	100,000	内郷御殿町二丁目59
四倉	㉕	四倉小学校	40,000	四倉町字西四丁目3-3
	㉖	好間第一小学校	40,000	好間町上好間字馬場前14

※●建屋のある貯水槽
※○建屋のない貯水槽

位置図など詳しくは水道局ホームページでご確認ください。

◆ 飲料水を入れる容器を準備しましょう

給水所を利用する際には、ふたができて持ち運べる容器を準備してください。

また、水を入れた容器は重いので、キャリーカートを用意するなど運び方も考えておくことと災害時に困りません。

耐震性貯水槽の倉庫内や水道局には「非常用飲料水袋」を備蓄しています。応急給水に備えて用意していますが、数に限りがありますので、容器の持参にご協力をお願いします。

6リットルの水が入り、リュックサックのように背負うことができます。



非常用飲料水袋



大地震の際にも「水」をお届けするために

水道施設の耐震化の取り組み

水道事業は、災害時においても、お客さまに水道水を安定供給することが求められます。

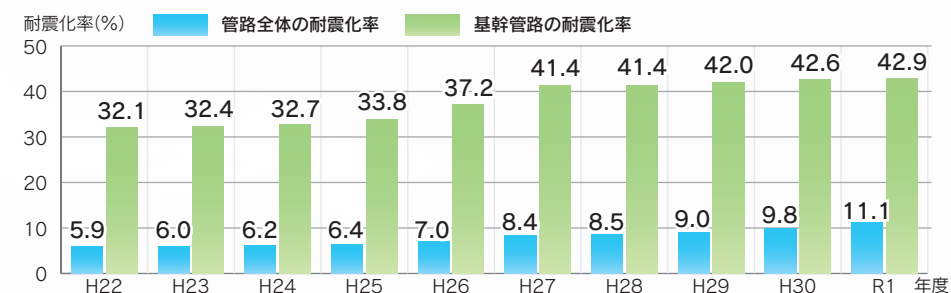
そこで重要なのが、被害発生の予防と被害の拡大防止に向けた対策です。

いわき市では、東日本大震災で水道管からの漏水が多発したため、市内のほぼ全域にわたる約13万戸で断水する事態となったことから、「新・いわき市水道事業経営プラン」の最重要事業に「老朽管更新事業」を位置づけ、平成29年度から市内の老朽水道管を年間26kmを目標に更新しています。整備にあたっては耐震管（地震に強い材質や継手構造を持つ水道管）を使用し、管路の耐震化を進めています。

また、災害時においても優先的に給水する必要のある救急病院や人工透析病院などの重要給水施設については、耐震化された配水池から給水施設までの水道管を優先的に耐震化する「重要給水施設配水管整備事業」を実施しています。

◆ 管路の耐震化の状況

各種事業を行った結果、令和元年度は前年度より約29km耐震管が増加しました。



※基幹管路とは、水道管の中で重要とされる導水管、送水管、直径35cm以上の配水管をいいます。

お問い合わせ 配水課 庶務係 TEL 22-9316

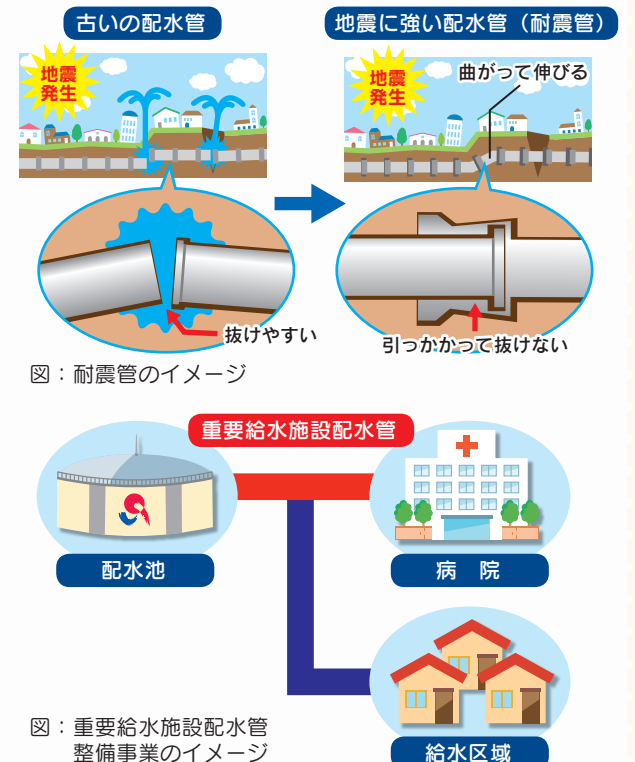
地域との取り組み

例年、市の総合災害訓練などに水道局も参加し、応急給水活動や耐震性貯水槽の操作方法などの訓練を地域の皆さまと一緒に進めています。

また、市役所出前講座でも耐震性貯水槽の操作方法を学ぶ体験型講座を希望される団体やグループ等を対象に実施しています*。

大規模な災害時には、地域の皆さまの助け合いが大きな力となります。あたたかいご協力をお願いします。

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況などによりお断りする場合があります。



図：耐震管のイメージ

図：重要給水施設配水管整備事業のイメージ



これからも計画的に耐震化を進めていこう!

